

グリーンボンド等支援表明について

株式会社ゼロボードは、「世界をクリアに変えていく」ことをミッションに、これまで、CO₂排出量の算定可視化システムを起点に上場企業を中心とした 15,000 社以上の脱炭素経営の推進をサポートしてきました。また、35 社の金融機関とパートナー連携を結び中小企業の気候変動に対する取り組みを包括的に支援していく体制を構築しております。

グリーンボンド等は、パリ協定により合意された「2°C目標」の達成や「1.5°C」に抑えるための温室効果ガスの大幅削減、循環型社会の構築、生物多様性の保全への取組等、持続可能な社会の形成に向けた取組に大きく貢献するものであり、ゼロボードの有するネットワークやノウハウがその大きな貢献を加速させることができると考えております。

株式会社ゼロボードは、我が国のグリーンボンド等市場の拡大に向け、日本国内におけるグリーンボンド等を促進するための支援に積極的に取り組むことを表明します。

【ゼロボードにおけるサステナビリティに関する取り組み】

カーボンニュートラルに関する宣言

株式会社ゼロボードは、2035 年までにカーボンニュートラルの実現を目指します。

- Scope 1：創業時より該当する排出はありません。今後も排出ゼロでの事業運営を継続します。
- Scope 2：業務活動でのエネルギー消費量の低減に努めるとともに、再生可能エネルギー証書の購入等により 2023 年度から排出ゼロを目指します。
- Scope 3：環境に配慮した財やサービスの調達を優先する他、各ステークホルダーと連携し、2035 年度に実質排出ゼロを目指します。

カーボンニュートラルに対する貢献

当社の運営する各種ソリューションの普及により、顧客企業の排出量の算定・可視化、削減計画の作成および進捗管理を推進し、社会全体のカーボンニュートラルの実現に貢献します。

サステナビリティ委員会の設置について

2023 年 12 月 19 日付で、経営会議の下部組織としてサステナビリティ委員会を立ち上げました。同委員会は、当社のサステナビリティに関する基本方針や戦略の策定、目標の進捗管理、施策の審議等を担います。また、同委員会は、委員長を渡慶次 道隆、副委員長を石森 昌子、事務局長を津倉 仁奈とし、他 5 名の委員を加えた計 8 名で運営いたします。

株式会社ゼロボード 代表取締役 渡慶次 道隆

東京都港区三田三丁目 5-27 住友不動産東京三田サウスタワー 10 階